労基報よっかいち

新　年　号

第129号　令和２年１月１日

発行人
一般社団法人四日市労働基準協会

四日市市西浦一丁目１－10
TEL 059－353－3910
FAX 059－352－1311

新年のご挨拶

一般社団法人四日市労働基準協会
会　長　　山﨑　長徳

新年あけましておめでとうございます。
皆々様、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
日頃は当協会の運営にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

わが国の経済は、度重なる自然災害や、通商問題の動向及び中国経済の先行き等に関する不確実性等の影響があったものの、企業収益や雇用・所得環境が改善し、緩やかな景気回復基調にあります。

このような経済情勢の中、雇用情勢の改善による就業者数の増加は見られるものの、将来的には生産年齢人口や就業者数の大幅な減少が予想されており、職場のなかにも人手不足に対する不安感が高まっています。

こうした懸念を払拭するためには、性別・年代・国籍に囚われず、誰もが活躍できる社会の実現に向けた取り組みが重要であり、そのためには働く人の視点に立って、一人ひとりの意思や能力、個々の抱える事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択できるよう「働き方改革」を進めていく必要があります。

今後、「働きやすさ」や「働きがい」の向上の観点から、就労を望む全ての人が安心して生き生きと働き続けられる環境整備を推進することが、会社の成長と発展に結びついていくものと考えます。

このような状況を踏まえ、当協会としましては、労働環境の改善、改革活動の推進により、末永い発展に努めてまいる所存であります。

迎えた本年は子（鼠）年であります。

「子」は、ご存知のように十二支の始まりです。昨年の亥年で結んだ種が、新たに芽生えて、いろいろな方向に育ち始めるというのが子年のようです。

本年は、過去の成果から引き継ぐべきものを維持しつつ、新たな環境や局面に向けて体制を整えていく年にできればと思います。

会員各社、皆々様のますますのご発展とご活躍、ご健勝を祈念し、新年のご挨拶と致します。

謹賀新年

令和二年の新春にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員皆様の益々のご隆昌を心からご祈念申し上げますとともに今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。

令和二年元旦

会　長　山﨑　長徳
副会長　横山　修一
〃　井筒　隆広
理　事　草川　嶺嗣
〃　岩間　英二
〃　渡邉　一陽
〃　西山　均
〃　馬場　剛志
〃　依田　英樹
〃　竹内　淳一
〃　二井　悠介
〃　山下　博之
〃　室橋　徹
〃　藤島　智文
〃　生駒　浩一
監　事　池内　定光
〃　伊藤　裕人
事務局長　伊藤　勲
事務局　早川久美子
〃　堀　めぐみ

新春を迎えて

四日市労働基準監督署長
小　野　紀　孝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、旧年中は一般社団法人四日市労働基準協会員の皆様方には、私ども労働行政の運営につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の県内の雇用情勢は、「一部に弱い動きが見られるものの、引き続き改善する中、求人が求職を大幅に上回って推移している」状況で、会員企業の皆様からも労働力の確保に苦慮されているお話を伺っているところです。そのような状況下で、昨年は、『働き方改革元年』というべく働き方改革関連法が４月から順次施行されました。

労働基準関係では、我が国初めての「時間外労働の上限規制」の法制化と「年５日の年次有給休暇の確実な取得」、そして労働者の健康確保の観点からの「労働時間の把握義務」を含めた産業保健機能の充実が主な内容となります。これらは、長時間労働の是正や休暇の取得により労働者の心身の健康保持･増進を図るとともに、育児や介護など労働者個人の事情に合わせた「ワーク・ライフ・バランス」の推進を目指すものです。毎年提出をお願いしています『安全衛生管理計画結果報告』の平成３０年度の集計結果をみますと、規模３００人未満の事業場においても、当署管内では３割近くの事業場で月８０時間を超える時間外･休日労働が行われている実態にありますので、本年４月１日からの法の施行に向けて、万全の準備をお願いいたします。

また、同集計結果によると、月８０時間を超える時間外･休日労働を行う長時間労働者に対する医師による面接指導率は４割程度にとどまっており、近年、クモ膜下出血などの「脳・心疾患」及びうつなどの「精神障害」による労災申請が高水準で推移していることを併せて考えますと、本人の申し出に関係なく、長時間労働者に対する面接指導及び医師からの意見聴取に基づく事後措置は健康経営の観点からもその実施は必要ではないでしょうか。

ところで、三重労働局においては、第１３次労働災害防止計画において、「死亡者ゼロ・休業４日以上の死傷者数２０００人未満の早期達成」を目指して、昨年来、『チャレンジアンダー２，０００みえ』推進活動を展開し、当署においても「北勢地区チャレンジアンダー２，０００みえ推進大会」、「製造業における職長に対する安全衛生セミナー」、「安全週間お助け課長」、「陸上貨物運送業における荷役作業安全パトロール」等を企画し、多くの会員の皆様に賛同を得てご協力をいただきましたが、昨年１１月末日時点で死亡者４人、休業４日以上の死傷者数６６８人（昨年同時期比１．４％増加）と３年連続して増加した平成３０年と同水準という結果となりました。

労働災害が減少しない背景として、少子高齢化の進展により、高年齢労働者の構成割合が高くなったことが挙げられます。一般に、高年齢労働者は労働災害防止に影響する平衡感覚、視力、聴力、柔軟性等の心身機能の衰えていることから、労働災害に遭う可能性が壮年者と比較すると高くなります。当署に報告された死傷病報告の統計をみると、平成１１年では６０歳以上の労働者の死傷者数の割合は１４．５％であったのに対し、平成３０年は２６．８％と倍近くになっていることからも裏付けられます。 今後、少子高年齢化がますます進展し、日本において６５歳以上の占める割合は２０６５年には４０％近くに上ることが推計されており、現在、厚生労働省では、「高齢者が働きやすい職場環境を実現するため、労使の取り組みを推進するためのガイドライン」を取りまとめておりますので、ガイドラインが策定された際にはご案内させていただきますので、ご活用ください。

また、今後、ますます親の「介護」や本人の「治療」と「仕事との両立」の必要性が高まってきます。良質な人材を維持・確保するためにも、労務管理・人事管理・健康管理などを合わせた総合的な働き方改革を推進されますようお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人四日市労働基準協会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

最低賃金が改定されました

三重県最低賃金			
時間額 873 円（令和元年 10 月 1 日発効）			
特定（産業別）最低賃金			効力発生日
三重県ガラス・同製品製造業最低賃金	時間額	900 円	令和元年 12 月 21 日
三重県電線・ケーブル製造業最低賃金	時間額	920 円	令和元年 12 月 21 日
三重県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	時間額	905 円	令和元年 12 月 21 日
三重県建設機械・鉱山機械製造業、自動車・同附属品製造業、船舶製造・修理業、舶用機関製造業、産業用運搬車両・同部分品・附属品製造業、その他の輸送用機械器具製造業最低賃金	時間額	941 円	令和元年 12 月 21 日

働き方改革セミナーのお知らせ　　同一労働同一賃金に向けた事務上の課題

講師は働き方改革実現会議 議員で、働き方改革関連法とその進め方の第一人者
東京大学社会科学研究所　水町 勇一郎　教授！

〈テーマ〉　◆第１部　講演「同一労働同一賃金に向けた実務上の課題」
　　◆第２部　「働き方改革」を進める上で活用できる支援策等について
日　　時　　2020 年１月 27 日（月）　13：30 ～ 16：30
場　　所　　プラザ洞津（津市新町１－６－28）　　定　員　140 名
お問合せ先　　一般社団法人　三重労働基準協会連合会　　TEL059 － 227 － 1051

荷主と運送事業者のための　トラック運転者の労働時間短縮に向けたセミナー

いま、考えてみませんか？物流を支えるトラック運転者のこと

2020 年２月 10 日（月）午後１時より、津市センターパレスにて荷主企業様にも役立つノウハウを紹介するセミナーを開催します。お申し込み先は以下までお願いします。

厚生労働省「トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト」の「セミナー申し込み画面」から、申し込みができます。https://driver-roudou-jikan.mhlw.go.jp/#seminar

2019 年　四日市労働基準監督署　死亡災害発生状況

四日市労働基準監督署
2019 年11月末現在

No.	発生月	業種	被災者 職種	被災者 年齢（年代）	事故の型	起因物	発生状況
1	1 月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	土工	60 代	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者が工事現場端の道路上で溝のグレーチングの養生作業を行っていたところ、ダンプトラックが前進してきて被災者を轢いた。
2	2 月	清掃・と畜業	清掃員	30 代	墜落・転落	用具	被災者は、廊下で脚立に登って窓の外側を清掃していたところ、身を乗り出し過ぎて、約 9 m下の地面に転落した。
3	3 月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	土工	40 代	墜落・転落	仮設物建築物構築物等	被災者は、基礎コンクリート打設工事現場において、基礎型枠内の生コンクリートの天端を均す作業のため、基礎型枠の隣にある鉄筋足場から基礎型枠に乗り移ろうとしたところ、高さ約 3 mの位置から地面に墜落した。
4	9 月	一般貨物自動車運送業	運転手	50 代	おぼれ	環境等	被災者は、荷下ろし後の 4 トントラックを運転し、事業場の車庫に戻る途中、前日からの大雨により鉄道のアンダーパスが冠水しており、そこを走行しようとしたところ、4 トントラックが水没した。その後、被災者は車内から発見され、死亡が確認されたもの。

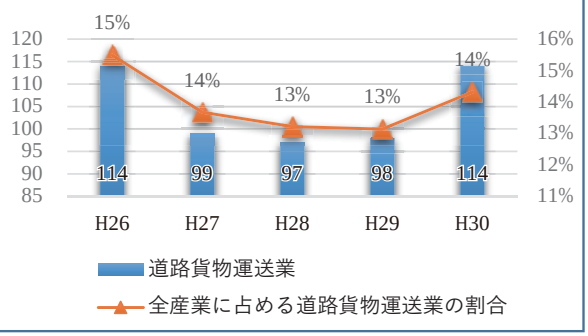
トラック運転手の荷役作業時の労働災害が多発しています！
～荷主、配送先の支えで、荷役作業が安全になります～

四日市労働基準監督署管内では、トラック運転手が被災する労働災害が多発しており、その発生は高止まりの状況にあります。

トラック運転手の労働災害防止は、陸運事業者だけでは、荷役作業の安全対策を講じることは困難ですので、荷主、配送先の皆様も、陸運事業者と連携して、荷役作業の労働災害防止の取り組みをお願いします。

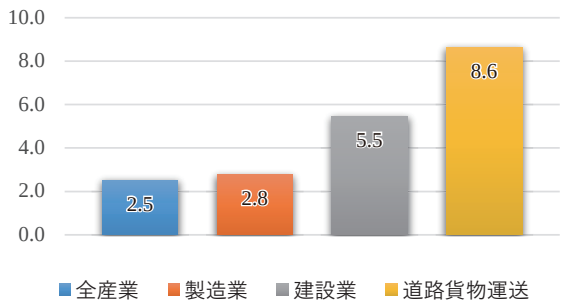
道路貨物運送業の労働災害が多発！

【グラフ① 道路貨物運送業の死傷災害の推移】



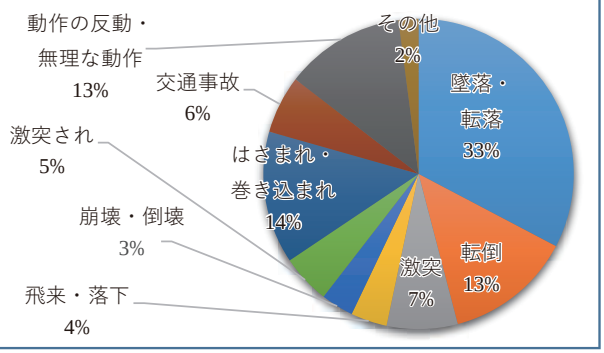
発生率は全業種の中でワースト1

【グラフ②平成26年～30年計　死傷災害　年千人率】



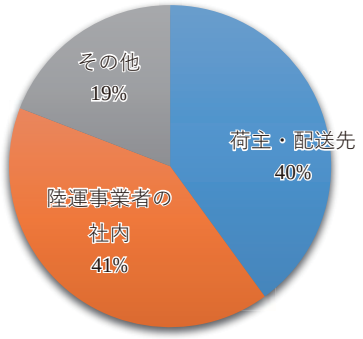
ワースト1　墜落・転落！

【グラフ③ 平成26年～30年陸運業死傷災害　事故の型別】



荷主・配送先での発生多い！

【グラフ④平成30年　陸運業死傷災害　災害発生場所別】



荷主・配送先において取組みい頂きたい事項

- ◆ 墜落・転落防止のための施設等の用意
- ◆ 荷役場所を安全に作業が行えるように改善
  （床の凹凸や照度の改善、混雑の緩和、整理整頓等）
- ◆ 荷役作業場所内の安全通路の確保
- ◆ 余裕を持った着時刻の設定
- ◆ 自らが管理する構内において行われる荷役作業全般に係る管理と指導
- ◆ 運送事業者との作業者間の連絡調整、契約内容の明確化

管内の荷主事業場における取り組み事例
（令和元年12月2日実施安全パトロールより）

陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン

令和元年　労働災害発生状況（休業４日以上の死傷者数）

四日市労働基準監督署

令和元年11月末現在

業種		年別	平成30年 死亡者数	平成30年 死傷者数	令和元年 死亡者数	令和元年 死傷者数	対前年比 死亡 人数	対前年比 死亡 %	対前年比 死傷 人数	対前年比 死傷 %
合計			6	659	4	668	－２人	－33.3%	＋９人	＋1.4%
製造業		食料品		51		56			＋５人	＋9.8%
		繊維工業		1		4			＋３人	＋300.0%
		衣服その他繊維								
		木材・木製品		2		1			－１人	－50.0%
		家具・装備品		1		2			＋１人	＋100.0%
		パルプ・紙加工品		1		6			＋５人	＋500.0%
		印刷・製本		1					－１人	－100.0%
		化学工業		17		15			－２人	－11.8%
		窯業土石製品		11		12			＋１人	＋9.1%
		鉄鋼業		14		10			－４人	－28.6%
		非鉄金属				1			＋１人	
		金属製品		28		27			－１人	－3.6%
		一般機械器具		18		21			＋３人	＋16.7%
		電気機械器具		7		9			＋２人	＋28.6%
		造船				2			＋２人	
		造船業以外の輸送用機械等		30		23			－７人	－23.3%
		電気・ガス・水道業				1			＋１人	
		自動車整備・機械修理業		4		9			＋５人	＋125.0%
		上記以外の製造業		5		12			＋７人	＋140.0%
		小計		191		211			＋20人	＋10.5%
鉱業		採石業		1		2			＋１人	＋100.0%
		上記以外の鉱業		1		1			±０人	±0.0%
		小計		2		3			＋１人	＋50.0%
建設業		土木工事	3	24		13	－３人	－100.0%	－11人	－45.8%
		木造家屋建築工事		22		6			－16人	－72.7%
		木造家屋以外の建築工事		25	2	35	＋２人		＋10人	＋40.0%
		その他の建設業	1	7		17	－１人	－100.0%	＋10人	＋142.9%
		小計	4	78	2	71	－２人	－50.0%	－７人	－9.0%
運輸交通業・貨物取扱業		旅客運送業		8		11			＋３人	＋37.5%
		道路貨物運送業	1	96	1	98	±０人	±0.0%	＋２人	＋2.1%
		港湾運送業		4		3			－１人	－25.0%
		上記以外の運送業		8		12			＋４人	＋50.0%
		小計	1	116	1	124	±０人	±0.0%	＋８人	＋6.9%
第一次産業		林業		1		2			＋１人	＋100.0%
		農業・畜産業		12		10			－２人	－16.7%
		水産業								
		小計		13		12			－１人	－7.7%
その他の事業	商業	小売業		81		61			－20人	－24.7%
		うち新聞販売業		16		12			－４人	－25.0%
		上記以外の商業		17		21			＋４人	＋23.5%
		通信業		10		10			±０人	±0.0%
	保健衛生業	社会福祉施設		39		40			＋１人	＋2.6%
		医療保健業・その他		13		15			＋２人	＋15.4%
	接客娯楽業	旅館業		6		8			＋２人	＋33.3%
		飲食店		20		12			－８人	－40.0%
		ゴルフ業		19		10			－９人	－47.4%
		上記以外の接客娯楽業		10		7			－３人	－30.0%
	清掃業	ビルメンテナンス業		3		3			±０人	±0.0%
		産業廃棄物処理業		16		14			－２人	－12.5%
		上記以外の清掃・と畜業		6	1	3	＋１人		－３人	－50.0%
	警備業		1	4		8	－１人	－100.0%	＋４人	＋100.0%
	上記以外の事業			15		35			＋20人	＋133.3%
	小計		1	259	1	247	±０人	±0.0%	－12人	－4.6%

資料出所　四日市労働基準監督署「死亡災害報告・労働者死傷病報告」

注：死亡者数は内数であらわしたもの。

令和元年分には、平成31年１月から４月発生分を含む

四日市地方産業安全衛生大会・優良勤労者表彰式を合同で開催

本年度は四日市地方産業安全衛生大会と優良勤労者表彰式の合同式典を四日市労働基準監督署並びに三重産業保健総合支援センターのご後援により、11月20日午後1時00分　四日市市文化会館第二ホールにおいて、三重労働局下角局長、四日市労働基準監督署小野署長・同宮田副署長、四日市市商工農水部佐藤部長、四日市商工会議所須藤専務理事、（一社）三重労働基準協会連合会山中専務理事を来賓に迎え、会員事業場を始めとする皆様のご理解・ご協力で、多くの方々にご参加をいただき盛大に挙行することができました。

式典は鈴木安全衛生委員の司会ではじまり、産業殉職者へ哀悼の意を表し全員で黙祷をささげた後、草川安全衛生委員長の開会のことば、山崎会長の式辞の後、第一部に入りました。最初に、

厚生労働省労働基準局長無災害記録証を受賞された2事業場を壇上でご披露し会長から記念品（安全衛生旗）を授与いたしました。引き続き、安全衛生活動に積極的に取り組み会長表彰を受賞されることとなりました優良事業場2社・功績者7名に会長から表彰状及び記念盾を授与いたしました。次いで、優良勤労者表彰が執り行われ、総務委員会水原・中野両副委員長が被表彰者全員（186名）のお名前を読み上げ、会長から受賞者代表に表彰状及び記念品が授与されました。授与後、被表彰者の代表が壇上において謝辞を述べられました。受賞されました皆様誠におめでとうございます。ますますのご活動、ご活躍を祈念申し上げます。次いで来賓の方々からそれぞれご祝辞をいただきました。

第2部に入り、四日市労働基準監督署中井

安全衛生課長から「労働安全衛生行政の動向について」のご講演をいただき、引き続き、特別講演としてNPO法人ベースボールスピリッツ／理事長奥村幸治氏による「夢を実現させるためのセルフマネジメント～イチローの原点を知る男、田中将大を育てた男～」と題する講演を拝聴し、有意義な時間を過ごすことができました。

特別講演を終え、寶所長の陣頭指揮により、参会者全員が声高らかに、「ゼロ災で行こう　ヨシ！」と指差唱和しました。その後に、浅野安全衛生副委員長が大会宣言（案）を朗読して採択しました。

最後に岩間総務委員長の閉会のことばで本大会の幕をおろしました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

令和元年度　安全・衛生優良事業場
表彰及び個人表彰

◆三重労働局長賞

《奨　励　賞》　KHネオケム株式会社　四日市工場

◆（一社）三重労働基準協会連合会長表彰

《安全優良事業場賞》　DIC株式会社　四日市工場
　　株式会社ロンビック　生産統括本部四日市工場
《安全功労者賞》　北村　　太（東芝三重メンテサービス株式会社）
《衛生優良事業場賞》　伊藤製油株式会社
　　株式会社JERA　四日市火力発電所
《衛生功労者賞》　中野　伸正（三重機械鉄工株式会社）

◆（一社）四日市労働基準協会長表彰

《安全優良事業場賞》　宝酒造株式会社　楠工場
《安全功績者賞》　笠原　俊昭（伊勢湾倉庫株式会社）
　　坂　　幸生（株式会社中部プラントサービス三重総合事務所）
　　田川　篤史（東芝三重メンテサービス株式会社）
　　松岡　正見（YKK AP株式会社　三重工場）
　　森　　拓也（岡田工業株式会社）
《労働衛生優良事業場賞》四日市合成株式会社　四日市工場
《労働衛生功績者賞》　大同　浩生（昭和四日市石油株式会社）
　　萩　　幸生（太陽化学株式会社）

安全衛生管理優良事業場視察研修

安全衛生管理優良事業場視察研修会終える

2019年11月8日、午前8時、近鉄四日市駅前から参加者18名を乗せバスが出発。、視察先に着くまでの車中、岩間総務委員長の挨拶、事務局から本研修の趣旨説明、自己紹介、研修用DVDの視聴等バス内での意見交換が続きました。

予定より若干遅延して午後2時30分頃、視察先の「明星セメント株式会社　糸魚川工場」に到着しました。最初に、会議室で田代友和課長様より工場概況等の説明を受けた後、工場内のセメント製造工程を安全衛生に係る事例などの説明を受けながら見学いたしました。その後会議室へ戻り、質疑応答をしていただきました。粉じんの立ちやすいセメントを製造しているにかかわらず、整理整頓清掃は隅々まで行き届き安全衛生活動に積極的に取り組んでいる素晴らしい工場を見学させて頂きました。参加者の多くの方から好評を得ることが出来ました。午後4時20分頃に視察を終え、宿泊先に向かいました。

二日目も、晴天となり、本殿は室町時代の特色を残す国指定重要文化財となっている「能生白山神社」に詣で、安全を祈願しました。その後、糸魚川「フォッサマグナミュージアム」に立ち寄った後、帰路につきました。バス内で更に親交を深め、有意義な2日間の旅を終了し、ほぼ予定時刻の午後6時過ぎに四日市に無事帰りました。

終わりになりましたが、今回視察研修にご協力いただきました関係者の皆様方に心より深く感謝を申し上げます。

令和元年度　2019年12月1日 ▶ 2020年4月30日

安全衛生教育促進運動

正しい知識で 職場を安全・健康に!

■■ 講習・教育 ■■

開催月日 月	開催月日 日	種別	修了者数（ ）内申込定員
10	2	低圧電気取扱業務特別教育	62
	17	KYT実践研修	23
	29～30	職長等教育［建設業を除く］	46
11	6	有機溶剤作業主任者能力向上教育	16
	12･13	玉掛技能講習（実技15～17何れか一日）	99
	15～16	産業用ロボットの教示等の業務特別教育	36
	26	自由研削用といしの取替え等業務特別教育	39
	27～28	安全衛生推進者養成講習	21
12	2～3	職長等教育［建設業を除く］	35
	4	フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	78
	6･8	クレーン運転業務特別教育	40
	10～11	安全管理者選任時研修	32
	13	特定粉じん作業従事者特別教育	43
	17	KYT実践研修	28
令和2/1	14～15	職長・安全衛生責任者教育	(40)
	24～25	産業用ロボットの教示等の業務特別教育	締切
	28	特定化学物質作業主任者能力向上教育	(60)
	30	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	締切
2	1	自由研削用といしの取替え等業務特別教育	(40)
	3	低圧電気取扱業務特別教育	(60)
	6～7	職長等教育［建設業を除く］	(40)
	14～16	アーク溶接等業務特別教育	(36)
	18	フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	(100)
	20～21	安全管理者選任時研修	(44)
	25	KYT実践研修（リーダー向け）	(48)
	27	労務管理講習会	(60)
3	6･8	クレーン運転業務特別教育	(60)
	10	KYT実践研修	(48)
	12～13	職長等教育［建設業を除く］	(40)
4	3･6･7	新入者安全衛生教育	(180)
	9～10	職長等教育［建設業を除く］	(40)
	24	熱中症予防対策労働衛生教育	(60)
	27	KYT実践研修	(48)

■■ 協会のうごき ■■

開催月日 月	開催月日 日	事項	場所
10	8	三重県産業安全衛生大会	三重県文化会館
	9	理事会（2019年度第3回）	当協会会議室
	11	総務委員会（2019年度第2回）	当協会会議室
	23～25	全国産業安全衛生大会	京都みやこめっせ
11	5	正副委員長会議（2019年度第3回）	当協会応接室
	〃	編集委員会（2019年度第3回）	当協会応接室
	20	四日市地方産業安全衛生大会・優良勤労者表彰式	四日市市文化会館
	22	経営セミナー	当協会会議室
令和2/1	10	安全祈願祭・賀詞交換会	伊勢神宮
	16	安全衛生委員会（2019年度第3回）	当協会会議室
	22	安全衛生セミナー（第3回）	当協会会議室
	23	総務委員会（2019年度第3回）	当協会会議室
2	4	正副委員長会議（2019年度第4回）	当協会応接室
	〃	編集委員会（2019年度第4回）	当協会応接室
4	13	会計監査	当協会応接室
	17	総務委員会（2020年度第1回）	当協会会議室
	20	安全衛生委員会（2020年度第1回）	当協会会議室
	22	理事会（2020年度第1回）	当協会会議室

会員事業場のご紹介

「JISQ 45100 導入による安全衛生の向上」

第一工業製薬株式会社 四日市事業所

1. 当社のご紹介

当社の創業は1909年、京都の線香屋の一角で絹産業向け薬剤の製造をしたことに始まります。本年度創業110周年を迎えた当社は、「こたえる化学」を掲げ、界面活性剤や機能性材料などの5つのコア事業と未来づくりの基盤として、新たにライフサイエンス事業にも注力しております。

四日市事業所は、千歳工場が1939年に設立され、本年度で設立80周年を迎えました。また、2015年からは霞コンビナートにて霞工場を設立し、1事業所2工場の体制で工場を運営しております。

第一工業製薬株式会社
四日市事業所霞工場

2. 四日市事業所の安全衛生活動

JISQ 45100及び、ISO 45001の認証取得活動を通じて、安全衛生水準の向上に取り組んでいます。

＜労働安全衛生活動　掲示板＞

① 掲示板の設置

安全衛生活動の見える化の取組みとして、事業所の安全衛生の掲示物などを集約し、新しく労働安全衛生活動掲示板を千歳工場･霞工場の両工場に設置しております。掲示板には、安全衛生方針や事業所及び各課の安全衛生計画、安全衛生活動のキャンペーン、事務局コメント欄など安全衛生に関する情報を掲示し、情報発信の場としています。設置場所も従業員が毎日必ず通る更衣室の付近とし、安全意識の高揚を図っています。

② マニュアル類の制定と見直し

安全衛生に関するマニュアルを制定し、体系立てて労働安全衛生マネジメントシステムが機能するよう、各種規程類の見直しを実施しました。また、リスクアセスメントとヒヤリハット･安全衛生改善提案が相互にリンクした活動となるよう、これらの規程類や様式も見直し、PDCAが上手く回ることを意識した活動に取り組んでいます。特に、安全衛生委員会における働く人との協議と参加や、活動の評価と改善に重点をおいて活動しています。また、熱中症に関する予防基準の制定･運用や、職制からの注意喚起、ニュースや朝礼などでの安全衛生の啓蒙活動を適宜おこなっています。

3. まとめ

当事業所は、2019年9月に化学業界として初めてJISQ 45100の認証を取得しました。また、2019年度に開催された「チャレンジアンダー2000みえ推進トライアル」において、開催期間中無災害を達成しましたので「推進トライアル達成事業場」として、三重労働局のHPで紹介されました。既存の安全衛生の活動に加え、今後はISO及びJISの枠組みを上手く利用し、更なる安全衛生の向上に努めてまいります。